

令和4年(2022年) 9月6日(火) 13957号



株式会社日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は2万円引下げの112万円

9月の月内建値平均は112万2,000円

JX金属は5日、電気銅建値を2万円引き下げの112万円と発表、同日より実施した。9月の月内建値平均は112万2,000円。3日に入電した直近のLME銅相場前場売値が7,587.00ドル。5日の東京市場の米ドルTTSレートは141.35円。この値で換算した採算価格は、107万2,400円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万7,600円となる。直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

4月	1310(1)	1340(6)	1320(12)	1340(14)	1360(19)	1370(22)	
							平均1336.5
5月	1280(9)	1260(11)	1220(13)	1250(17)	1230(19)	1260(23)	
							平均1250.6
6月	1270(1)	1340(7)	1360(9)	1330(13)	1290(15)	1260(17)	
							平均1270.0
7月	1170(1)	1130(5)	1080(7)	1100(11)	1050(13)	1070(19)	
							平均1085.5
8月	1110(1)	1090(3)	1110(8)	1140(12)	1110(16)	1140(19)	
							平均1129.5
9月	1140(1)	1120(5)					平均1122.0



黄銅削粉買値は12円引き下げの849円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は5日、黄銅削粉買値を12円引き下げの849円と発表した。今月2回目の改定。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
 PW: nikkin202209

金属資源情報

世界の探鉱動向2022 (2)

JOGMEC

潮がさせばすべての船が浮かぶはずだったが、一部の地域にだけ有利に働いた

世界はパンデミックによる制限や混乱から次第に抜け出しており、先進国や先進地域の回復が最も進んでいる。探鉱業者と生産者は、何とか経済の開放に努め、国民に迅速なワクチン接種を進めているカナダ、豪州、米国、中国、その他の地域で多くの探鉱活動に注力している。世界の探鉱予算の半分近くはこれらの地域をターゲットとしている。

カナダの探鉱予算は対前年比62%、799mUS\$増加し、過去9年間で最高の2.09bUS\$となった。これは、金額でも増加率でも地域として最大の増加である。豪州と米国の予算増加率も、世界の平均増加率を上回り、それぞれ39%、37%だった。カナダ全体はその予算増加により、トップ地域の中南米に次ぐ第2の探鉱最恵地域となった。

豪州の探鉱予算は、対前年比39%、531mUS\$増加して合計1.90bUS\$となり3位の地域の座を守った。この地域の世界予算に占める割合は微増の17%となり、2014年の12%から上昇傾向が続いている。

米国の予算は37%増の1.28bUS\$となり、20年以上6位の地域であったがアフリカを抜いて5位となった。米国の予算は、金、リチウム、銀の予算が増加して銅予算の減少を相殺したため、パンデミック中であっても2020年に回復してわずか1%の微減だった。金と銅の予算はいずれも2021年に大幅に増加し、金は48%増の699mUS\$、銅は41%増の357mUS\$となった。

中南米は、増加率が平均を下回る29%であったものの、世界の予算に占める割合は24%の2.66bUS\$であり依然としてトップの座を守った。メジャー企業の予算は1.49bUS\$、この地域の予算に占める割合は56%で、ピークだった2017年の71%よりも減少している。

メキシコは2014年にトップの座から陥落していたが、中南米のトップ探鉱地域に返り咲いた。同国の予算は対前年比38%増の619mUS\$となり、2020年にトップだったチリが548mUS\$でこれに続いた。その他の上位国はペルー、ブラジル、アルゼン(次頁へ)

チン、エクアドル、コロンビアであり、これら7か国の予算は合計2.45bUS\$で、この地域合計の92%を占めた。

「その他世界」(欧州とアジア大陸部の大半)の予算は34%増の1.86bUS\$となり、2020年の2位から4位に後退した。金と銅が再び最大の予算を得たが、これら2つの金属の増加率は世界平均を下回る31%と20%だった。ニッケルとリチウムが大幅に増加し、その予算はいずれも2020年よりも約50%増加した。

ロシアの予算は24%増の535mUS\$で「その他世界」でトップの座を守り、2位の中国は59%増の495mUS\$でその差を縮めた。中国では、金、銅、ニッケル、モリブデンの予算が増加分の大半に寄与した。ロシアでは銅の探鉱予算のみが大幅に増加したが、金とダイヤモンドの増加が平均以下だったことでその効果は弱まった。

ロシアと中国の合計予算は1bUS\$を突破し、2014年以降で最高額である。この地域のその他の国の中では、サウジアラビアの予算は2019年と2020年には地域10位で

あったが、2021年は155%増の85mUS\$となり4位に上昇した。同国では、国営企業Ma'adenが、石油から脱却して経済を多角化するためにより多くの鉱山に投資し、ここ数年探鉱予算の消費を加速している。

アフリカと太平洋・東南アジア地域の予算は停滞しており、いずれの地域も2020年比12%しか増加しなかった。アフリカで最も増加したのは金探鉱だったが、その増加率はわずか18%だった。

太平洋諸島諸国と東南アジア諸国を含む太平洋・東南アジア地域では、金探鉱が17%増で最も増加した。ベスマタルでは、銅とニッケルがそれぞれ6%と28%増加した。インドネシアの予算は13%増加して129mUS\$となって2019年のレベルにほぼ戻り、依然としてこの地域のトップであった。パプアニューギニアは6%減で58mUS\$となったが2位の座を守り、3位はフィリピンで11%増加して32mUS\$となった。(おわり)

二次地金同合金地金7月

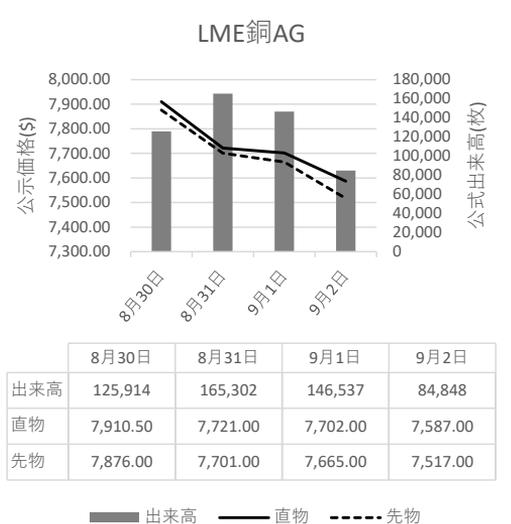
生産・出荷 前年比11か月連続マイナス 日本アルミ合金協会

一般社団法人日本アルミニウム合金協会(山本隆章会長)はこのほど、2022年7月の二次地金同合金地金等生産実績を発表した。生産(自家・受託合計)は61,136トンで前年同月比84.5%、出荷(販売・その他合計)は61,308トンの同85.4%。生産、出荷の同比はともにマイナスで11か月連続のマイナスとなった。

前年同月比は、6月の生産が81.3%、出荷は82.7%で、7月はともに上昇した。また、7月の対6月比では、生産は104.08%、出荷は101.5%となっている。

産業部門別出荷(二次地金同合金地金同ピレット等)の前年同月比は、全8部門(粉除く)でマイナス、その幅は板の5.4ポイントから輸出の63.9ポイントまで。

LME公式値週間推移 8月30日~9月2日(現地)

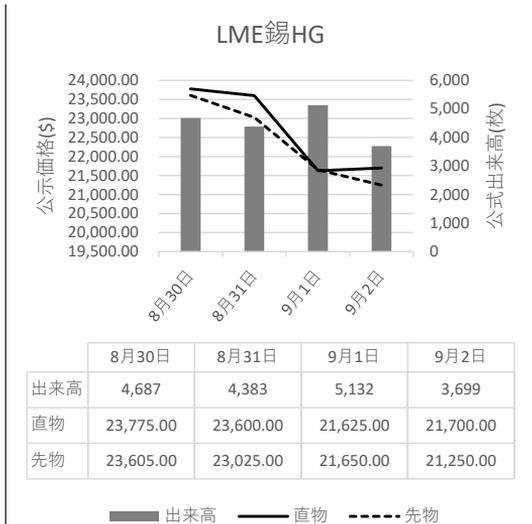


アルミニウム二次地金同合金地金等生産実績 (令和4年7月) (単位:トン)

区分	月別生産	生産			計	消費	出荷			月末在庫
		自家生産	受託生産	その他			販売	その他	計	
地区別製品生産										
中国	8,104	19,323	1,382	0	20,705	19,424	1,338	20,762	8,017	
インドネシア	6,984	21,727	1,360	589	23,245	23,519	1,469	25,088	6,368	
フィリピン	5,033	11,867	1,733	63	13,662	11,764	1,743	13,497	5,188	
その他アジア	2,316	4,067	147	0	4,504	4,154	107	4,261	2,528	
その他	22,227	61,136	84.5	650	61,786	128	56,051	4,697	61,308	
前年同月比%										85.4

アルミニウム二次地金同合金地金等生産実績 (令和4年7月) (単位:トン)

産業別	月別生産	生産			計	消費	出荷			月末在庫
		自家生産	受託生産	その他			販売	その他	計	
建築用	524	1,493	2,500	92	6,029	4,712	2,237	6,950	503	
自動車用	18,895	48,882	1,022	56	50,962	48,538	1,600	49,968	20,364	
航空機用	5	206	0	0	206	0	206	0	5	
船舶用	1,897	1,015	990	438	2,313	1	932	1,380	1,687	
その他	616	3,064	70	61	3,168	3,223	40	3,183	587	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	22,227	58,974	4,162	650	61,786	128	56,051	4,697	61,308	



※ 9月2日の出来高は速報値です。



東洋製罐 (061)

“新兵器”SABOT開発

～ドローン×スプレー缶の遠隔型スプレー噴射装置～

農作業から戦争まで…ドローンの導入は加速度的に進んでいるが、東洋製罐株式会社(本多正憲社長)はこのほど、スプレー缶をドローンに搭載するロボット用遠隔型スプレー缶噴射装置『SABOT』を開発、展示会に出品した。ドローンの探知力とスプレーという作業力をかけ合わせた“新兵器”で、ドローンに「容器」の技術・ノウハウを活かして新提案を続けていくという。(写真は同社のWebサイトから引用)



ロボット用遠隔型スプレー缶噴射装置『SABOT』

少子高齢化による労働人口の減少などが様々な分野・産業で悩ましい課題になるなか、利活用が進んでいるテクノロジーがドローン。

農業分野での種子散布など多様な作業現場での点検利用など、空撮だけではないドローンのテクノロジーが様々なステージで注目を集めている。

そこで着目したのが、ドローンへのスプレー缶の搭載。既存ドローンのカメラ・センサによる「見る」行為だけでなく、これまで目立たなかった「作業」と

いう行為を可能にしようという発想。インフラ検査の場合、ドローンで探知した異常箇所にもマーキングを行うことで、補修作業者が作業箇所を容易に見発見できるようになる。また、簡易的な防錆処理やマイクロクラックの補修など、これまで足場を設置するコストに見合わなかった軽補修作業や、近年増加している鳥害(糞害、騒音、漁業や農作物被害など)に対する忌避剤噴霧など、多岐にわたる技術を検討している。

SABOTとドローン機体を出品展示したのは、7月に東京ビッグサイトで開催された「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2022」の「インフラ検査・維持管理展」。会場



ドローン下部に取り付けられたSABOT



スプレー缶の交換



国際ドローン展のPR (同サイトから引用)

を押し込むシンプルな機構のみで、スプレー缶の軽さは特長となっている。SABOTの対応機種なら取り付けるだけで使用でき、特殊なハードウェア改造や特別なソフトウェアをインストールする必要がない(対応機種:Matrice 210 V2/Matrice 210 RTK V2、対応予定機種:Matrice 300 RTK)。

また、液体物を使用するうえで手間がかかるのが、流路とタンク周りの作業。SABOTは流路となるノズルとチューブが一体となっており、全て丸ごと取り外すことが可能な設計。使用後のメンテナンスが容易で使い捨ての運用もでき、流路全てを交換できるため、ミッション中の液剤の切り替えにも柔軟に対応できる。スプレー缶を使用するSABOTは原理的にタンクの洗浄や充填作業は生じず、缶の交換作業もスナップ錠を外すだけで、工具レスで缶へのアクセスが可能としている。

さらに、SABOTはDJI社のCendence-Sコントローラを使用することで、作業に必要な全てのアクションをハードボタンに割り当てることができる。狙いを定めるために必須となる着弾予想位置は、レーザー測距センサから得られた対象物までの距離と、缶内容物の液性から計算されており、高精度なピンポイント噴射作業を可能にしている。

また、カスタマイズ性では、DJI社以外のドローンのほか、ドローン以外のロボットに対し、モジュール部品として組み込み可能なスプレー缶噴射装置としている。このため、例えばフォークリフトに装着したSABOTをWi-Fiで遠隔操作することで、高所へのスプレー缶の吹き付け作業などを行うこともできる。

* * *

「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2022」の構成展示会「第8回国際ドローン展」は、ドローンの最新テクノロジーを一堂に集めたショーとカンファレンス(特別講演会)。ドローンの導入は、測量、インフラ点検、建築、農業、物流など様々な分野で進んでおり、ドローンの開発・製造から各ソリューションや最新技術を発信した。会場では、ドローン飛行技術、ドローン機体構成部品・機器や関連技術、ドローン活用ソリューションサービスに関する製品やサービスが紹介され、デモ飛行も行われた。

故銅市況

前週末3日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,702.00ドルより115.00ドル安の7,587.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,652.00ドルより39.00ドル高の7,691.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,665.00ドルより148.00ドル安の7,517.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,597.00ドルより36.00ドル高の7,633.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の12月限は、前営業日の340.65セントより0.70セント高の341.35セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万0,920元より1,080元安の5万9,840元。

週明け5日の東京為替市場TTSレートは、前週末の141.09円より0.26円の円安ドル高、1ドル=141.35円。3日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,587.00ドル。この値と5日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の112万4,000より1万4,000円安の111万円。この日、電気銅建値は112万円に引き下げられた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円) (9月5日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が862~867、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは827~832、並銅は792~802、込銅（高品位=約97%）は782、セバは671~676。コーペルは要り用筋で612、それ以外は597ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋622、それ以外592~602どころの値頃。並青銅鋳物削粉は693~698どころ。

小口市相中相場（1トン前後）では、ピカ線が842~862、上銅新くずが807~827、普通上銅が782~802、2号銅線が774~794、並銅が772~792、込銅（94-97%）が720、込銅（90-93%）が722、下銅が391~441、セバが636~671、コーペルが552~597、黄銅棒地が547~592、黄銅削粉が542~587、黄銅ラジが507~515、交叉ラジが449~506、黄銅鋳物が455~462、送りが282~301、上青銅鋳物が690~710、並青銅鋳物が670~685、上青銅鋳物削粉が685~705、並青銅鋳物削粉が660~680どころ。

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区（9月前半）

2S=220円~240円、63S=204円~255円、アルミホイール(1P)=121円~235円、ビス付サッシ=87円~96円、エンジンコロ=110円~118円、込合金(機械鋳物)=93円~101円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

関西地区（9月前半）

2S=202円~205円、63S=205円~240円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=186円~196円、ベースメタル=154円~158円、機械鋳物=96円~99円、ダライ粉=75円~78円、ビス付サッシ=73円~108円、缶プレス=83円~88円。

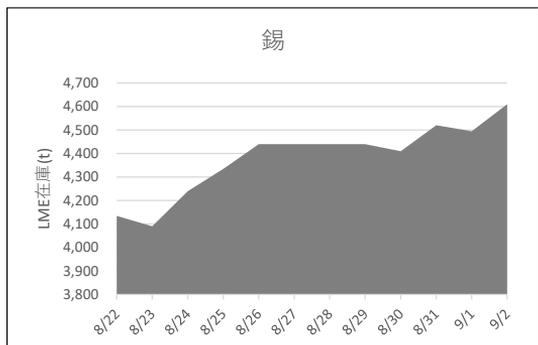
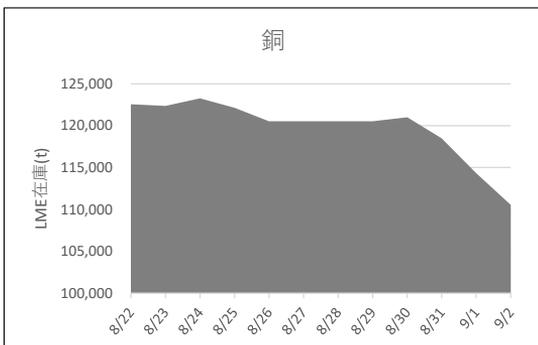
為替動向

2日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0090ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0020ドル~1.0030ドルで推移。8月の米国雇用統計で雇用者数増も市場予想の範囲内。FRBが利上げを加速を減速するとの受け止めが拡がりユーロ買いドル売りが優勢になった。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0060ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.1580ドル~1.1590ドル。

2日のニューヨーク外国為替市場で円相場は6営業日ぶりに反発。前日と比べ0.10円の円高ドル安、1ドル=140.05円~140.15円。急ピッチで円安が進んだ反動から次第に円の買い直しが優勢になった。米国の雇用統計では非農業部門雇用者数が前月比31.5万人増と増加幅で7月の52.6万人から縮小も市場予想の範囲内。失業率は3.7%と7月の3.5%より高く市場予想も上回った。労働市場が逼迫緩和との観測からドルが売られた。ただ、雇用は堅調維持でドル買いも。午後にロシア国営天然ガス会社・ガスプロムが欧州向けガスパイプライン・ノルドストリーム稼働停止延長すると伝えられた。投資家のリスク回避姿勢が強まり円相場を支援。急速な円安が進んだ反動もあって持ち高調整の円買いドル売りが優勢になった。

5日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落。8時30分、前週末17時と比べ0.16円の円安ドル高、1ドル=140.40円~140.41円で推移した。欧州で景気後退懸念が強まりユーロが対ドルで大きく売られ円相場に波及、対ドルで円を下押した。円は対ユーロでは上昇。同じく0.84円の円高ユーロ安、1ユーロ=139.24円~139.27円で推移した。

LME認定倉庫在庫推移 8月22日~9月2日(現地)





LME銅相場は続落 直物終値は7,691.00ドル
 COMEX銅相場は小幅反発 SHFE銅相場は続落
 LME非鉄相場は総じて軟調 亜鉛直物は4営業日で約15%安



3日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、9月2日入電の7,702.00ドルより115.00ドル安の7,587.00ドル。4営業日の続落で8.76%安。この週8.76%の下落。9月に入って1.74%の下落。3か月物の前場売値は、9月2日入電の7,665.00ドルより148.00ドル安の7,517.00ドル。4営業日の続落で9.22%安。この週9.22%の下落。9月に入って2.39%の下落。LME公認倉庫の銅在庫は、現地9月1日の11万4,325トンより3,775トン減の11万0,550トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、9月限が、9月2日入電の341.45セントより0.70セント高の342.15セント。5営業日ぶりの反発で0.21%高。この週7.81%の下落。9月に入って2.76%の下落。10月限は、9月2日入電の341.10セントより1.00セント高の342.10セント。6営業日ぶりの反発で0.29%高。この週7.47%の下落。9月に入って2.78%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、9月限が、9月2日入電の6万1,350元より1,150元安の6万0,200元。5営業日の続落で5.54%安。この週5.54%の下落。9月に入って3.63%の下落。中心限月に当たる10月限は、9月2日入電の6万0,920元より1,080元安の5万9,840元。4営業日の続落で5.59%安。この週5.53%の下落。9月に入って3.39%の下落。

錫はまちまち

LME錫相場の前場売値は、直物が、9月2日入電の2万1,625.00ドルより75.00ドル高の2万1,700.00ドル。5営業日ぶりの反発で0.35%高。この週11.25%の下落。9月に入って8.05%の下落。3か月物の前場売値は、9月2日入電の2万1,650.00ドルより400.00ドル安の2万1,250.00ドル。4営業日の続落で12.55%安。この週12.55%の下落。9月に入って7.71%の下落。LME公認倉庫の錫在庫は現地9月1日の4,495トンより115トン増の4,610トン。

鉛は続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、9月2日入電の1,915.00ドルより25.00ドル安の1,890.00ドル。4営業日の続落で5.38%安。この週5.38%の下落。9月に入って3.08%の下落。3か月物の前場売値は、9月2日入電の1,917.00ドルより31.00ドル安の1,886.00ドル。5営業日の続落で5.56%安。この週5.56%の下落。9月に入って3.28%の下落。LME公認倉庫の鉛在庫は現地9月1日の3万7,500トンより25トン減の3万7,475トン。

亜鉛も続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、9月2日入電の3,300.00ドルより155.50ドル安の3,144.50ドル。4営業日の続落で14.51%安。この週14.51%の下落。9月に入って11.17%の下落。3か月物の前場売値は、9月2日入電の3,234.00ドルより128.00ドル安の3,106.00ドル。4営業日の続落で13.67%安。この週13.67%の下落。9月に入って10.10%の下落。LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地9月1日の7万7,150トンより350トン増の7万7,500トン。

アルミはまちまち アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、9月2日入電の2,306.00ドルより3.00ドル高の2,309.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.13%高。この週7.45%の下落。9月に入って2.51%の下落。3か月物の前場売値は、9月2日入電の2,301.50ドルより0.50ドル安の2,301.00ドル。4営業日の続落で7.42%安。この週7.42%の下落。9月に入って2.38%の下落。LME公認倉庫のアルミ在庫は現地9月1日の27万6,375トンより万325トン減の27万6,050トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、9月2日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、9月2日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、9月2日入電より横ばいの2,282.00ドル。この週1.85%の下落。9月に入って1.76%の下落。3か月物の前場売値は、9月2日入電より横ばいの2,277.00ドル。この週2.06%の下落。9月に入って1.64%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、9月2日入電の2万0,525.00ドルより325.00ドル安の2万0,200.00ドル。4営業日の続落で6.09%安。この週6.09%の下落。9月に入って4.96%の下落。3か月物の前場売値は、9月2日入電の2万0,585.00ドルより425.00ドル安の2万0,160.00ドル。4営業日の続落で6.49%安。この週6.49%の下落。9月に入って5.44%の下落。LME公認倉庫のニッケル在庫は現地9月1日の5万4,540トンより42トン減の5万4,498トン。



LME公示価格(US\$)/9月2日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,587.00	21,700.00	1,890.00	3,144.50	2,309.00	1,760.00	2,282.00	20,200.00
	前営業日比	▲ 115.00	75.00	▲ 25.00	▲ 155.50	3.00	0.00	0.00	▲ 325.00
	週間増減比	▲ 8.76%	▲ 11.25%	▲ 5.38%	▲ 14.51%	▲ 7.45%	0.00%	▲ 1.85%	▲ 6.09%
先物	公示価格	7,517.00	21,250.00	1,886.00	3,106.00	2,301.00	1,760.00	2,277.00	20,160.00
	前営業日比	▲ 148.00	▲ 400.00	▲ 31.00	▲ 128.00	▲ 0.50	0.00	0.00	▲ 425.00
	週間増減比	▲ 9.22%	▲ 12.55%	▲ 5.56%	▲ 13.67%	▲ 7.42%	0.00%	▲ 2.06%	▲ 6.49%

海外非鉄金属相場

(9月3日 入電・現地 9月2日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 9月限, 10月限, 11月限, 12月限, 1月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 1830.0 (45.0), 1823.4 (43.9).

■NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35.

■ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1712.50 (18.20), 13000 -, 3.60 -, 1.52 -, 250 -, 7.00 -, 9.00 -, 37.00 -, 23.50 -, 3500 -, 320.0 -, 110 -.

■KLT M 銅 (MYR/KG、出来高トン)

Table with columns: (2日), (5日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

■LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

■上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (9/5), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

■上海相場

Table with columns: トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Rows: 9月限, 10月限, 前日比, 出来高.

※5日のKLT Mは取引がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

非鉄金属製品相場

(9月5日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◆ 1430	◆ 1365	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◆ 1480	◆ 1415	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	◆ 1560	◆ 1565	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	◎ 1590	◆ 1565	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1500	◆ 1475	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	◆ 1340	◆ 1335	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◆ 1395	◆ 1380	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	◆ 1420	◆ 1395	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	◆ 1350	◆ 1335	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	◆ 1620	◆ 1565	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◆ 1210	◆ 1190	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	◆ 1240	◆ 1220	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	◆ 1360	◆ 1370	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	◎ 1700	◆ 1670	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	◎ 1670	◆ 1640	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	◆ 985	◆ 1010	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	◆ 1015	◆ 1040	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	◆ 1045	◆ 1070	白金(グラム)		◎ 4251	4C×2 168-172
鍛造用	◆ 1025	◆ 1050	パラジウム(グラム)		◎ 10279	6C×2 237-243
ネーバル	◆ 1125	◆ 1150	金(グラム)		◎ 8538	7C×2 271-278
高力	◆ 1125	◆ 1150	銀(キログラム)		◎ 92950	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◆ 1385	◆ 1370	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 274
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1585	◆ 1580	金属ケイ素(99.99%未満)	470		〃 その他 367.2
黄銅条1.5×100	◆ 1205	◆ 1205	モリブデン酸化物	3929		フェロシリコン55%以上 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	2520	2710	タンタル	62949		フェロクロム4%以上炭素含有 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	2770	2970	マグネシウム	574		フェロモリブデン純分60%以上 4007
リン青銅棒25ミリ	2680	2890	コバルト	11130		フェロバナジウム 4218
リン青銅線3ミリ	2980	3190	インジウム	29633		フェロニッケル33%未満 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	3530	3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3700	3860				

減 摩 合 金	9月1日改定	銅 合 金 地 金	9月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4525	BC 1種	1215
2種	4400	2種	1535
3種	4270	3種	1615
4種	3760	6種	1295
5種	3595	7種	1425
7種	1320	YBSC 3種	1095
8種	1165	LBC 3種	1560
9種	995	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(9月5日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	◆1010	◆1008	電 気 銅	1120(5)	金	7,744(5)			
2 号 銅 線	◆968	—	() 実施日 電気鉛	336(1)	銀	82,800(5)			
上 銅 (新 切)	◆981	◆976	電気亜鉛	547(1)	錫(99.99%)	4,700(1)			
雑 ナ ゲ ッ ト	◆840	◆840	再生ダイカスト亜鉛2種	437	431	437	431		
並 銅	◆923	◆905	再生亜鉛(98%)	380	374	380	374		
下 銅	◆904	◆876	電 気 鉛	308	305	308	305		
銅 削 粉	◆898	◆879	再 生 鉛 1 号	291	281	289	284		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	296	292	294	290		
新 切 黄 銅 セ バ	◆797	◆793	錫 1 号	◆3300	◆3250	◆3300	◆3250		
コ ー ベ ル	◆764	◆751	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950	1900		
黄 銅 棒 地	◆748	◆739	ニッケル(メッキ用)	◆3000	◆2950	◆3000	◆2950		
黄 銅 削 粉	◆742	◆735	コ バ ル ト	◎8600	◎8300	◎8600	◎8300		
並 黄 銅	595	◆596	セ レ ニ ウ ム	◎3000	◎2800	◎3000	◎2800		
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	◆565	◆549	ピ ス マ ス	1350	1250	1350	1250		
交 叉 ラ ジ エ タ ー	543	◆547	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550		
黄 銅 鑄 物	600	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480		
山 送 り (55%)	370	—	アルミ地金 99.70 %	368	364	370	366		
上 青 銅 鑄 物	◆785	—	アルミ二次地金 99 %	305	300	305	300		
並 青 銅 鑄 物	◆783	◆767	〃 90 %	263	258	263	258		
上 青 銅 鑄 物 削 粉	◆778	—	アルミ二次合金ADC12	417	412	420	415		
並 青 銅 鑄 物 削 粉	◆768	◆752	鑄 物 用 C2BS	442	437	444	439		
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	◆1008	青 銅 合 金 地 金 3 種	◆1535	◆1525	◆1610	◆1600		
〃 (鑄 物)	◆899	—	〃 6種	◆1235	◆1225	◆1300	◆1290		
リ ン 青 銅 削 粉	◆817	◆803	ハ ン ダ 錫 60 %	3010	2970	3030	3000		
新 切 洋 白 (電 子 材)	◆829	◆810	〃 50 %	2600	2550	2620	2590		
新 切 亜 鉛	273	273	〃 40 %	2250	2190	2205	2175		
ダ イ カ ス ト く ず	238	238	減 摩 合 金 2 種	4370	4340	4375	4345		
亜 鉛 ド ロ ス	216	227	〃 4 種	3715	3690	3720	3690		
上 鉛	140	138	〃 7 種	1250	1200	1250	1200		
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		75	75		
活 字 鉛	125	122		〃 ダライ粉		60	60		
新 切 ア ル ミ 1 級	◎242	◎244		高耐食ステンレスSUS316		210	210		
新 切 サ ッ シ 1 級	◎242	◎242		耐熱ステンレスSUS310		365	365		
新 切 合 金 1 級	◎227	◎222		13クローム 新切		17	24		
機 械 鑄 物 1 級	◎155	◎162		ハイス 9種		220	220		
ピ ス 付 サ ッ シ P	◎183	◎180							
合 金 削 粉 P	◎100	◎105							
込 ガ ラ P	◎95	◎97							
カ ン ・ バ ラ	160	161							

非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202209